

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東北文化学園 専門学校	昭和58年12月27日	野田 幹雄	〒981-8552 宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番16号 (電話) 022-233-8163			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 東北文化学園大学	昭和53年3月17日	土屋 滋	〒981-8550 宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番1号 (電話) 022-233-3330			
目 的	職業人としての意欲と基礎的な知識や技術を持ち、自らの問題意識や目的意識をもって向上できる人材を目指す。具体的には、インテリア業界で求められる美的センス、企画・構想力、マーケティング力、発想力、コミュニケーション力を持ち合わせた人材である。これらのバランスがとれた様々な資質を養うためには、インテリア業界と密に連携をとりながら企業・団体が求める人材の声を常に耳を傾けておくことが重要になる。そして即戦力となる人材を育成し、インテリア業界の発展に貢献することを目的とする。また、多様化する社会のニーズに対し、インテリア業界の立場から貢献できる応用力を備えた人材の育成も目指す。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業 専門課程	インテリア科	2年(昼)	1,785 単位時間 (又は単位)	平成12年文部省告示第十五号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	930 単位時間 (又は単位)	885 単位時間 (又は単位)	0 単位時間 (又は単位)	60 単位時間 (又は単位)	120 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人	33 人	2 人	19 人	21 人		
学期制度	■前期：4月1日から9月30日まで ■後期：10月1日から3月31日まで			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 4段階による評価を定期試験やレポート等により総合的に評価	
長期休み	■学年始め：4月1日から4月6日まで ■夏 季：8月11日から9月13日まで ■冬 季：12月25日から1月8日まで ■学 年 末：2月20日から3月31日まで			卒業・進級条件	進級は、試験等により教育課程における学年の所定授業科目を修得した者を認め、卒業は、専門課程の所定期間在学し、かつ、試験等により全課程を修了したと校長が認めた者	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 教頭、科長、担任による面談 家庭への密な連絡 放課後などの補講実施			課外活動	■課外活動の種類 復興ボランティア活動 クラス内スポーツ大会 ■サークル活動 (有) 無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 インテリアメーカー、ハウスメーカー、工務店、住設機器メーカーなど ■就職率^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 71.4% ■その他（任意） （平成25年度卒業者に関する平成26年5月時点の情報）	主な資格・検定	インテリアコーディネーター インテリア設計士 色彩能力検定 福祉住環境コーディネーター 販売士検定 リビングスタイリスト検定 商業施設士補
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成25年4月1日在学者 31 名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 31 名（平成26年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 出席不良者本人及び保護者への電話・文書連絡・成績連絡、個人・三者面談等の実施		
ホームページ	URL: http://college.tbgu.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うにあたり、本校の教育理念をご理解いただいた企業・団体と本校が、これからのインテリア業界を担うスペシャリストの人材育成を目的として連携することを基本方針とする。

人材育成については、インテリア業界で求められる美的センス、企画・構想力、マーケティング力、発想力、コミュニケーション力が身に付くカリキュラムを中心に行われるが、学生が実践力を養う上において社会とのつながりは欠かすことはできない。基礎知識力・技術力を社会の場において、学生自らが試すことによって、本当の意味においての応用力と実践力を修得する必要がある、現在の専門学校生に求められている。よって連携企業・団体との連携においては、実際のインテリアの現場において行われる職業人意識・デザインセンス・社会の流れを強く意識した実習を行うことを目指す。かつ教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保するとともに、教育課程編成委員会において、これからのインテリア業界に必要な人材の授業科目の検討・見直し・改善を行い、高い教育の質を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
熊谷 猛	東北文化学園専門学校 教頭
畠山 公一	東北文化学園専門学校 教務課課長
工藤 剛実	東北文化学園専門学校 教務課担当科長
山田 春文	東北文化学園専門学校 事務課課長代理
佐々木 賢志	東北文化学園専門学校 建築科科长
増田 学身	東北文化学園専門学校 インテリア科科长
渋谷 孝志	一般社団法人日本建設機械レンタル協会宮城支部
西塚 英毅	株式会社深松組 建築部建築部長
宮崎 俊彦	トキワ産業株式会社 仙台営業所長

(開催日時)

第1回 平成26年9月11日 15:30～16:30

第2回 平成26年10月2日 15:30～16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

各企業・団体との連携は以下の点を重要項目に掲げ、教育の基本方針とする。

- ① これからのインテリア業界を担うスペシャリストの育成を目指す。
- ② 実践的な実習・演習を展開する内容に特化する。
- ③ 社会人としてのマナーや礼儀、コミュニケーションを重視する。
- ④ 自ら考えて行動でき、目的意識や問題意識を持てる人材を育成する。
- ⑤ 各企業・団体と本校において、学生と企業・団体会員が交流できるような実習・演習を展開する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インテリア設計士 資格講座Ⅰ インテリア設計士 資格講座Ⅱ	インテリア空間ならびにインテリアエレメントを使って、生活者が安全で快適な住生活ができるようインテリアに関する計画・設計及び生産・施工技術・管理技術を身につける。そのため、インテリア設計のための基本的な考え方、表現方法、作図方法を学習する。	宮城県インテリア設計士協会
施工演習Ⅰ 施工演習Ⅱ	カーペット、カーテン、クロスなどの室内を構成している各種内装仕上げ材を取り上げ、その種類、特徴、施工方法、見積もり方法などについて学習する。また、各テーマごとに実際の施工方法に基づいた施工演習を行う。	トータルインテリアショップ仁助

企業実習	履修するインテリアについての専門科目の成果を確認するために、連携する企業で取り組む現場で行われる各種作業を行う。実際に企業の主催する研修現場へ赴き、実践的なスキルアップを目指すのと同時に、一社会人としての品格を磨く。	公益社団法人インテリア産業協会 東北支部、 宮城インテリアコーディネーター 倶楽部
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

インテリアの専門分野においては、公益社団法人インテリア産業協会及び宮城インテリアコーディネーター倶楽部主催の研修や勉強会に積極的に参加をし、インテリア業界の最新の流行や商品流通などの情報を得ることで、教員の能力や資質等の向上を図る。本校は前述団体の賛助会員になっており、団体に所属する各企業及びインテリアコーディネーターから専門分野における実務に関する知識や技術をフィードバックできるため、授業の質向上を図れる環境が整えてある。また、必要に応じて各企業や団体と連携し、本校での講演会や商品説明会などを行う。

教員の授業向上については、学内において年一回以上の研修を行う他、教育大学教授等へ授業公開し、授業終了後に意見交換を行うなどしている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
野田 幹雄	東北文化学園専門学校 校長
千田 孝彦	東北文化学園専門学校 副校長
相澤 康弘	東北文化学園専門学校 教頭
熊谷 猛	東北文化学園専門学校 教頭
畠山 公一	東北文化学園専門学校 教務課課長
工藤 剛実	東北文化学園専門学校 教務課担当科長
渡辺 英隆	東北文化学園専門学校 学生課課長 (社会福祉科科长兼務)
増田 学身	東北文化学園専門学校 企画広報課課長 (インテリア科科长兼務)
小島 郁子	東北文化学園専門学校 キャリア対策課課長 (医療情報管理科科长兼務)
千田 利朗	東北文化学園専門学校 事務局次長
渋谷 孝志	一般社団法人日本建設機械レンタル協会宮城支部
海老主 勝義	NPO法人福祉住環境ネットワークみやぎ
中里 仁	特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
山形 和正	公益社団法人宮城県眼科医会 会長
立石 浩一	東北文化学園専門学校同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公開する。

URL: <http://college.tbgu.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページにおいて公開する。

URL: <http://college.tbgu.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程インテリア科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			国語基礎	国語の基礎的・一般知識を理解し文章表現力を習得する。小論文作成力を向上させさまざまな文章に触れて読解力の向上を図り豊かな人間性を身につける。	1前	30	2	○		
○			デッサン	立体物及び空間の正確な把握と表現力を身に付けるため、石膏デッサンや人体クロッキーなどを通して立体物の陰影表現を習得する。また平面及び立体構成の演習を行い、デザインの基礎を学ぶ。	1前	30	1		○	
○			IC実務	様々な空間をコーディネートするためには、コミュニケーション能力や、企画力・コンサルティング能力、プレゼンテーション能力、限られた期間の中で最高のインテリアを提供できるスケジュール管理能力が必要となる。将来インテリアコーディネーターとして仕事に携わるものとして必要な実務的知識・技術を総合的に学ぶ。	2通	60	2		○	
○			色彩演習	色彩の科学的、物理的基礎知識及び心理効果、配色技法等を演習を通じて学び、インテリアのカラーコーディネートテクニックを習得すると共に、「色彩能力検定」合格を目指す。	1前	30	2	○		
○			インテリア構法	インテリアを構成している床・壁・天井から建具・造作にわたり、その構造や施行方法、構成材等を学習する。	1前	30	2	○		
○			3次元CAD	3Dコンピュータグラフィックによる室内パースの表現技術を学ぶ。主に内観を題材に空間表現の幅を広げる。	2後	45	1.5		○	
○			DTP演習	プレゼンテーション用パネルの制作技術として、イラストレーターとフォトショップを中心にDTP技術を学ぶとともに、データの互換性を理解し総合的に利用できる技術を身に付ける。	1後	30	1		○	
○			インテリアプレゼンテーション演習	色彩計画の基本知識と、演習を通して、実践的な色彩のテクニックを習得し、インテリアコーディネーター演習へとつなげる。	1後	45	1.5		○	

○		インテリアコーディネータ概論	インテリアコーディネーターに必要とされる「技術に関する知識」及び「販売に関する知識」の基本的な内容を学習する。	1通	60	4	○		
○		インテリアコーディネータ演習	インテリアコーディネーターとしての職務の一連のプロセスを把握することを目的とし、企画から提案までの過程をプレゼンテーションボードを制作しながら学ぶ。	2後	45	1.5		○	
○		家具計画	家具の基礎知識及び構造、加工技術などについて学び、機器・機材（電動工具、手工具）の使用方法和、材料の継ぎ手工法を理解し、木工を中心に実習していく。	1後	45	1.5		○	
○		インテリア設計士資格講座Ⅰ	インテリア設計のための基本的な考え方、表現技法、作図方法を学習する。在学中に「インテリア設計士資格2級」を取得することを目標にし、様々な条件に基づいたインテリアをプランニングしていく。	1後	45	1.5		○	
○		インテリア設計士資格講座Ⅱ		2前	45	1.5		○	
○		販売士資格講座	販売関連の公的資格である「販売士」の養成講座。講座内で実施される資格試験において1科目の免除を受けることができる。	1通	60	4	○		
○		図学Ⅰ	建築・インテリアパースの基礎課程として、空間構成や立体構成の感覚を身に付けるため、遠近法基礎と表現技法の基礎を学ぶ。	1前	45	1.5		○	
○		図学Ⅱ		1後	45	1.5		○	
○		表現技術演習	「店舗計画」の学習内容をベースにして、オリジナルな店舗の設計を行う。図面・パース・プレゼンテーションボードなどを用いて自分が意図していることを表現できることが主題となる。	2前	45	1.5		○	
○		施工演習Ⅰ	カーペット、カーテン、クロスなど室内を構成している各種内装仕上げ材を取り上げ、その種類、特徴、施工方法、見積方法などについて学習する。また、各テーマごとに実際の施工方法に基づいた施工演習を行う。	2前	30	1		○	
○		施工演習Ⅱ		2後	30	1		○	
○		福祉住環境講座	介護や福祉の基本的な知識を学び、住環境を提案する上で配慮できることを目的とする。施設訪問や見学会を通じ、実社会の現状に即した学びを重視する。	1前	30	2	○		

○			店舗計画	店舗全体のプランニングから設計、施工管理に至るまでを行う専門技術者の育成に必要な知識の習得を行う。様々な商業建設を業種別に分け、それぞれのプランニングや設計、施工に必要な知識について学習する。	1 後	30	2	○		
○			人間工学	人体の計測、姿勢、動作分析、作業域について学び、家具や住空間との関わりあいを理解する。さらに人間の生理、心理学的な諸特性に適合させる科学としても学ぶ。	1 前	30	2	○		
○			建築構造	建築物の施工順序に従い、地質調査、基礎構造（木造、鉄筋コンクリート、鉄骨造など）へと進め、部材名称及び関連用語を学習する。	2 後	30	2	○		
○			建築計画Ⅰ	住宅の平面計画を中心に、敷地の選定から建物の配置、間取りの考え方など建築計画の手法を学ぶ。基本的な家族生活をふまえ、工夫して豊かに暮らせる家づくりを目指す。	1 前	30	2	○		
○			建築計画Ⅱ		1 後	30	2	○		
○			建築史Ⅰ	西洋建築史、日本建築史、近代建築史における主な様式と家具・プロダクトの歴史について学習する。さらに、建築設計にかかわる大規模な歴史的建造物について深く学び、建築構造や都市計画など建築デザインの基礎となる知識を習得する。	1 後	30	2	○		
○			建築史Ⅱ		2 後	30	2	○		
○			構造力学Ⅰ	建築物に働く各種の外力とその作用に伴い生ずる応力を、基本的な静定構造について梁、ラーメン、トラスの解析を行う。さらに、各種応力についてそれぞれの部材に生ずる応力度（単位断面積当たりの応力）の計算方法及び許容応力度との比較を行う。	2 前	30	2	○		
○			構造力学Ⅱ		2 後	30	2	○		
○			建築法規Ⅰ	建築物の設計・工事管理を安全に行うために必要な建築基準法、さらにコーディネーターの業務、消費者の安全確保に必要な消費者保護基本法、家庭用品品質表示法等について学習する。さらに、建築物の設計・工事管理を安全に行うために必要な建築基準法の実務的な役割りと、消防法、都市計画法、建築士法、建設業法、単体規定、集団規定、労働安全法規等について学習する。	2 前	30	2	○		
○			建築法規Ⅱ		2 後	30	2	○		

○		環境工学	人間がより快適に、そして健康的に生活するために室内環境はどうあるべきか。このことをテーマに、人と建築を取り巻く環境「室内の暖かさ・冷たさ、音響、太陽光線と生活（日照・採光）、換気、色彩計画など」について、基本的事項を理解し、適切な室内環境を作り出す方法を考察する。	1 後	30	2	○		
○		建築設備	建築に対するクレームは設備関係に最も多く、適切な設備工事を行わないと、トラブルの原因となる。ここでは快適な室内空間をつくるために必要不可欠な給排水設備、空調設備、電気設備等の基礎知識を習得する。	1 前	30	2	○		
○		CAD製図 I	建築図面の手続きによる製図をコンピューターに置き換え、より正確に美しく作図するという行為を念頭にCADの基本操作を習得し、基本的な建築図面、インテリア図面の作図方法を学ぶ。	2 前	45	1.5	○		
○		CAD製図 II		2 後	45	1.5	○		
○		建築材料および材料実験	建築物に使用されている材料の中から仕上げ材を取り上げ、材料の選定に必要な特性及び利点、欠点、製品の種類、物理的性質などを学習し、適材適所に用いるための知識を習得する。	1 前	30	2	○		
○		設計製図 I	製図は難しいものではなく、繰り返し練習することで、だれでも正しい製図方法を習得することができる。木造住宅を題材にした「基礎学習」と「製図課題」を通して、住宅建築の知識と正しい製図の方法を学ぶ。	1 前	45	1.5	○		
○		設計製図 II	住宅の設計課題を通して「好きになること」「考えること」「実践すること」を柱として、考えていることを何らかのかたちで表現してみることを繰り返し、作品としてまとめ・仕上げられる力を身につける。	1 後	75	2.5	○		
○		設計製図 III	新築に比べて制約が多く、解決の困難な課題が提示されやすい建築のリフォームを主題にして、住空間のリノベーションに関わる演習を行う。さらに、DTPによるパネル化とプレゼンテーションを習得する。	2 前	45	1.5	○		
○		設計製図 IV	インテリアコーディネーターの2次試験対策。過去問題を通して施主の要望に配慮しながら家具や照明の配置を検討したり、造作家具のデザインをし、それを図面で表現する。	2 前	45	1.5	○		

○			卒業制作	建築物やインテリア空間の、設計・コーディネートに関するテーマを各自が設定し、制作に取り組む。よりよい技術・知識の習得を目指し、卒業制作展にて2年間学習した成果を発表する。	2通	120	4				○
○			企業実習	実際に企業へ赴き、実践的なスキルアップを目指すのと同時に、一社会人としての品格を磨く。	2通	60	2				○
		○	インテリアコーディネーター講座Ⅰ	インテリアコーディネーターの1次試験の対策講座。Ⅰ「1次試験技術編」Ⅱ「1次試験販売」Ⅲ「2次試験」に対応する。	1前	30	2	○			
		○	インテリアコーディネーター講座Ⅱ		2前	30	2	○			
		○	インテリアコーディネーター講座Ⅲ		2後	30	2	○			
		○	色彩検定資格講座Ⅰ	色彩に関する専門知識の習得と活用の能力を問う色彩検定2級・3級の対策講座。	1前	30	2	○			
		○	色彩検定資格講座Ⅱ	実際に企業へ赴き、実践的なスキルアップを目指すのと同時に、一社会人としての品格を磨く。	1後	30	2	○			
		○	福祉住環境資格講座	福祉住環境整備の基本となる福祉住環境コーディネーター3級の取得へ向けた対策講座。	1後	30	2	○			
		○	リビングスタイリスト講座	住環境に関わる物品の流通・販売の技能を検定する資格。販売技術と商品知識の両面に関する内容を学ぶ。	1前	30	2	○			
○			生活・就職指導	—	12通	60	0	○			
○			国語基礎	国語の基礎的・一般知識を理解し文章表現力を習得する。小論文作成力を向上させさまざまな文章に触れて読解力の向上を図り豊かな人間性を身につける。	1前	30	2	○			
○			デッサン	立体物及び空間の正確な把握と表現力を身に付けるため、石膏デッサンや人体クロッキーなどを通して立体物の陰影表現を習得する。また平面及び立体構成の演習を行い、デザインの基礎を学ぶ。	1前	30	1			○	
合計					50 科目	1,995	単位時間 (98.5単位)				